

1	1. D	2. B	3.(1) T	(2) T	(3) F
	(4) F	(5) T	(6) T	(7) T	(8) F
2	1. B	2. D	3. E	4. B	5. C
3	1. C	2. B	3. C	4. B	5. C
	6. B	7. D	8. B	9. E	10. A
4	1. seem to have no intention of trying to make (meet も可) the deadline.				
	2. well-known fact that obesity can lead to heart disorders.				
	3. no choice but to make do with what's available.				
	4. not have the least idea about how to put out the fire.				
5	1. B	2. C	3. E	4. A	
6	1. B	2. B	3. A	4. B	5. D

講評

I期とほぼ同じ形式の問題ではあるが、読解問題のレベルがやや難化の印象を受けた。

ただしIに関しては言語の発達に関してある程度の知識を持っていれば、内容の展開は十分に想像ができ、事実、選択肢の内容も本文から離れて独立した英文として扱っても真偽の判定はしやすいものであった。

一方6は医学テーマでは頻出の“脳”と“認知”の関係を扱った英文で、やや難しく感じたかもしれない。ただし、設問が内容そのものに関するものではなく本文の細部の読み取りを問うたものであり、何が聞きたいのかが、いまひとつ明瞭ではないために、答えにくさを感じた受験生も多かったのではないだろうか？（例えば、3は本文中第2段落の brain at work という細かな表現の解釈がポイントとなる。）

他の問題は全般的に標準レベルであり合格には80%強は必要であろう。

medika 英語科

medika2009年度生 入学受付中!

詳細は、コチラ↓

<http://medika.jp/>